第 60 回富山県中学校総合選手権大会バレーボール競技

1　事前の対応

参加チームに対して感染防止のために以下の「感染対策基本方針」をもとに、選手・スタッフが遵守すべき事項を明確にして事前に連絡し協力を求める。大会責任者及び、参加者（チーム）はそれぞれ感染対策責任者を設置し、事前・事業実施日・事後にお互いが連絡を取り合える環境づくりをする。

1. 活動実施の基本的対応方針

⑴安全な活動環境の確保

①3密（密閉，密集，密接）の排除

②ソーシャルディスタンス（2m（最低でも 1m））の 確保，換気の徹底

③手洗いの徹底，手指や共通で接触する物（ボール・器具・ドアノブ 等）の消毒徹底

④マスク着用の徹底

⑵事業参加者の情報把握の徹底

①大会前後 2 週間の健康状態，②学校や勤務先等の状況，③2週間前までの行動，④連絡先

・指導者（チーム代表者）は，選手・スタッフの健康状態を把握することはもとより，選手所属学校の状況およびスタッフの勤務先等の状況も確認できるようにすること。

⑶感染源を絶つ

①大会2週間以内に発熱、咳、倦怠感など症状がある選手、指導者は参加を自粛する。

2　大会当日の感染症対策

【会場管理に関する事項】

① チーム（選手）と競技役員の動線を区別したり、ゾーニングしたりして、接触を最小限に抑える。

② 受付には消毒液を設置し、リスクを軽減する。

③ 特に感染リスクの高い次の場所については、以下の点に配慮する。

・選手待機場所（大アリーナ 観客席）

※ 各チームの待機場所を指定し、間隔を開けて座る。

※ 観覧席入り口には手指消毒液を設置する。

・洗面所・トイレ・更衣室

※ 手洗い場にはポンプ式液体または泡石鹸を準備する。

※「トイレではふたを閉めて汚物を流す」、「手洗いは 30 秒以上」等の掲示をする。

※ 原則として、更衣室の使用を禁止する。

【入場に関する事項】

・大会当日は受付を設置し、大会会場への入場者の把握を徹底する。
・大会会場への入場できるのは以下の①～⑤に該当する人のみとする。

① 選手（大会として制限はしない）
② チーム関係者３名（有効にベンチ登録された顧問、部活動指導員、外部指導者）
③ 保護者・観客（１チームにつき２０名。ただし、事前に申請する必要がある。）
④ 当該校の教職員（管理職）
⑤ 大会役員（競技役員、帯同審判、その他運営）、生徒役員

・①～⑤に該当する人は全て、事前に「健康チェックカード」を記入し、提出する。
・各校顧問は当日会場へ入場予定のチーム関係者（②～④）の大会参加者名簿を作成し事前に大会本部に提出する。当該校の教職員については、入場時に受付にて提出する。
・入場に関しては、配布されるIDカードを着用する。

【チーム（選手、引率）、役員に関する事項】

・試合に出場している選手以外は、常にマスクを着用する。
・試合前及び試合後の握手、ベンチへの挨拶は行わない。
・ベンチやウォーミングアップゾーンでは、距離を取って座ったり待機したりする。
・試合球、ラインズマンフラッグ・得点板等は適宜消毒を実施する。
・タオルや水筒はチームでまとめることはせず、個々で管理・移動すること。（試合中も）
・消毒担当役員は、手袋とマスク（必要に応じてフェイスシールド）を着用する。
・靴底を触らないように徹底する。また、適宜靴底を消毒する。

【観戦者に関する事項】

・観客席では間隔を空け、決められた位置で応援をする。
・競技中は大きな声での応援や会話をしない。
・競技者との接触を避ける。
・ゴミは必ず持ち帰る。
・トイレでの共有の布タオルやエアータオルは使用しない。
・試合が終わったら速やかに退館する。

3　事後の対応

・健康チェックシートに関しては、個人情報の取り扱いに十分注意しながら、提出者の了解を得た上で、大会責任者が1ヶ月は保管する。
・大会終了後（14日以内）に、参加者から新型コロナウイルス感染症を発症した場合速やかに当該校から大会責任者（専門委員長）に報告する。大会責任者（専門委員長）は県中体連事務局に報告するとともに、対応について検討する。